

## 安倍首相が狙う 改憲

NHKで小池書記局長

総選挙後初の与野党幹部の討論が23日のNHK番組で行われ、安倍首相が狙う9条改憲が焦点になりました。出席した日本共産党の小池晃書記局長は次のように発言しました。

■「選挙では安倍政権による憲法9条改悪反対という日本共産党、立憲民主党、社民党の共闘が大きく伸びて、立憲民主党は（野党）第一党になった。『9条を変えない』という声が

総選挙「9条変えるな」の声高まる

高まつた選挙だ」  
■安倍首相は9条に自衛隊を明文化すると言っています。小池氏は「書き込もうとしている自衛隊は災害救助で頑張っている自衛隊ではない。安保法制（戦争法）で集団的自衛権を使用する、その自衛隊を書き込むことになれば、文字通り制約なく海外で武力行使ができるようになる」

日本共産党

災害救助ではなく  
海外で戦争する自衛隊

憲法に書きこもうとしている自衛隊は

共産党 12議席

捲土重来期す

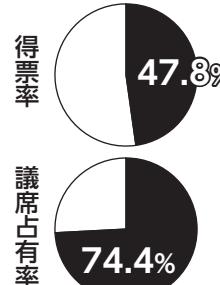
近畿民報

小選挙区制の  
害悪ワッキリ

自民 得票47%議席74%

自民「大勝」が言われていますが、選挙区で一人しか当選せず、2位以下の投票が「死票」になる小選挙区制に助けられたためです。

民意を最も反映する比例代表選挙での自民党の得票率は33.28%。絶対得票率（有権者比）は17.49%で政権から転落した2009年総選挙時の18.1%を下回り続けています。



共産・立憲・社民 38→69議席

# 共闘勢力大きく前進

近畿では2議席に

総選挙で共産党は、小選挙区・沖縄1区と比例代表の11議席、あわせて12議席を獲得。比例代表では前回の20議席から11議席に後

退しました。比例近畿ブロックでは定数1減（29から28に）のもと、4議席から2議席となりました。力不足が原因であり、次の国政選挙では必ず捲土重来を期します。

市民と野党の  
共闘さらに  
すすめます



記者会見する共産党・志位和夫委員長  
22日夜

大局に立ち67候補降ろす

今回の選挙では共産、立憲民主、社民の3野党が市民連合と7項目の政策合意を結んで協力・連携。立憲民主党が15から55議席へ躍進、3野党全体としては38から69議席に増やしました。

共産党は民進党の「希望の党」への合流という重大

な逆流が共闘に持ち込まれるなか、安倍政権打倒の大間に立って全国67の小選挙区で候補者を下ろす決断を行いました。この決断が、共闘勢力の前進に大きく貢献しました。これには「民主主義守る大英断」「機敏な行動に驚き」など各界の人たちから共感が寄せられています。